

東北の国有林

令和8年度 東北森林管理局の取組



国民の森林・国有林

林野庁 東北森林管理局

目 次

I 東北の国有林	1
II 事業内容	
1 公益重視の管理経営の一層の推進	
（1）重視すべき機能に応じた管理経営	2
（2）地球温暖化対策の推進	4
（3）生物多様性の保全	5
2 森林・林業施策全体の推進への貢献	
（1）効率的な施業の推進と民有林関係者への普及	9
（2）林業事業者・林業経営体の育成	11
（3）市町村の森林・林業行政に対する技術支援	12
（4）森林・林業技術者等の育成支援	12
（5）国有林材の安定供給	13
3 国民の森林としての管理経営	
（1）森林の整備・保全等への国民参加	14
（2）森林サービス産業の推進	15
（3）森林環境教育の推進	15
III 県別重点取組	
1 青森県における東北森林管理局の重点取組	16
2 岩手県における東北森林管理局の重点取組	18
3 宮城県における東北森林管理局の重点取組	20
4 秋田県における東北森林管理局の重点取組	22
5 山形県における東北森林管理局の重点取組	24
IV 参考資料	
1 主要事業量	
（1）東北森林管理局計	26
（2）県別内訳	27
2 組織	28
3 沿革	29

表紙写真

- ①：八甲田山生物群集保護林遠景（三八上北署：青森県十和田市）
- ②：木材のストックヤード（盛岡署：岩手県盛岡市）
- ③：草花を使った万華鏡づくり（朝日庄内森林生態系保全センター：山形県酒田市）
- ④：海岸防災林（仙台署：宮城県仙台市）
- ⑤：高齢級秋田杉の木口（秋田署：秋田県秋田市）

写真①

② ③ ④ ⑤

I 東北の国有林

- 青森県、岩手県、宮城県、秋田県及び山形県の5県にまたがる国有林野を管理経営5県の県土面積532万haのうち、国有林の面積は約31%に当たる165万ha
- 青森ヒバの天然林が津軽・下北半島を中心に、秋田杉の天然林が秋田県北部を中心に分布し、ブナ・ミズナラなどの天然広葉樹林は奥地脊梁山地などに広く分布
- 人工林の植林や間伐などの森林整備、スギ・カラマツ等の木材供給を通じた木材産業支援等で地域振興に貢献



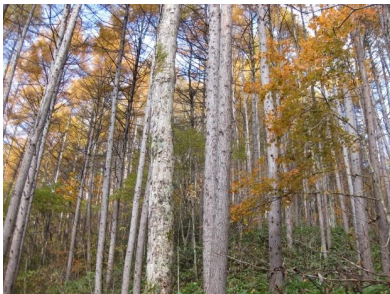
青森ヒバ天然林（青森署）



秋田杉天然林（米代西部署）



白神山地のブナ林（米代西部署）



カラマツ人工林（三陸北部署）



海岸防災林（仙台署）



蔵王地域の樹氷（山形署）

〈森林資源の状況〉

区分	県土面積 (千ha) (A)	森林面積 (千ha)		森林率※ (%)		国有林の林種別面積 (千ha)		
		(B)	うち国有林 (C)	(B)/(A)×100	うち国有林 (C)/(A)×100	人工林	天然林	その他
青森県	965	633	391	66%	41%	132	239	20
岩手県	1,528	1,169	384	77%	25%	155	198	31
宮城県	728	414	126	57%	17%	44	73	9
秋田県	1,164	839	390	72%	34%	149	220	22
山形県	932	669	353	72%	38%	60	266	27
計	5,316	3,724	1,645	70%	31%	540	996	109

区分	国有林の樹種別蓄積 (千m³)							
	スギ	カラマツ	ヒバ	アカマツ	その他N	ブナ	ナラ類	その他L
青森県	21,324	2,321	13,526	2,423	1,439	16,330	2,087	16,819
岩手県	10,613	9,579	687	7,957	1,702	10,757	3,173	18,956
宮城県	5,208	1,118	46	2,659	462	6,429	486	6,633
秋田県	33,948	2,301	365	658	1,439	14,711	1,610	15,044
山形県	13,878	1,154	76	496	808	12,968	1,942	12,128
計	84,971	16,474	14,700	14,193	5,850	61,196	9,299	69,580

出典：県土面積は、国土地理院「令和8年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」
 国有林面積及び民有林面積は、林野庁「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」
 国有林の蓄積は、東北森林管理局「令和7年事業統計書（令和6年度版）」

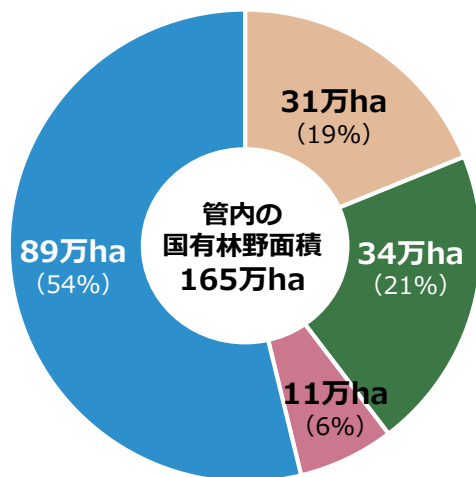
本表における国有林は林野庁所管のみを計上
 ※県土面積に対する森林の割合

1 公益重視の管理経営の一層の推進

(1) 重視すべき機能に応じた管理経営

■ 機能類型区分に応じた森林施業の推進

東北森林管理局では、森林の有する多面的な機能を持続的に発揮させるため、整備及び保全していく上で重視すべき機能に応じてタイプ別に国有林を区分し、適切かつ効率的な管理経営を行っています。



■ 山地災害防止タイプ

山崩れなどの山地災害を防止する機能を重視

■ 自然維持タイプ

森林生態系の保全や貴重な野生動植物の保護など自然環境を保全する機能を重視

■ 森林空間利用タイプ

レクリエーションなど森林とのふれあいの場を提供する機能を重視

■ 水源涵養タイプ

良質で豊かな水を供給する機能を重視

出典：東北森林管理局「令和7年事業統計書（令和6年度版）」

▶ 多様な森林づくり

森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくため、現地の状況に応じた**多様で健全な森林への誘導**を推進します。

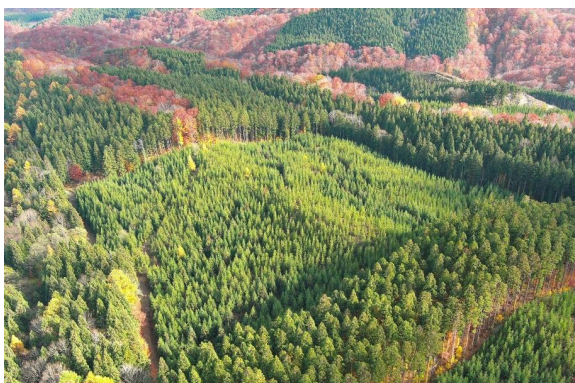
複層林化や針広混交林化等の施業を実施することにより、災害に強い国土基盤の形成や良質な水の安定的供給の確保、生物多様性の保全等の観点から重視した管理経営を計画的かつ効率的に推進します。

また、人工林のうち、自然条件や社会的条件が良い箇所については、「**特に効率的な施業を推進する森林（※）**」に設定し、積極的な主伐・再造林を進めます。

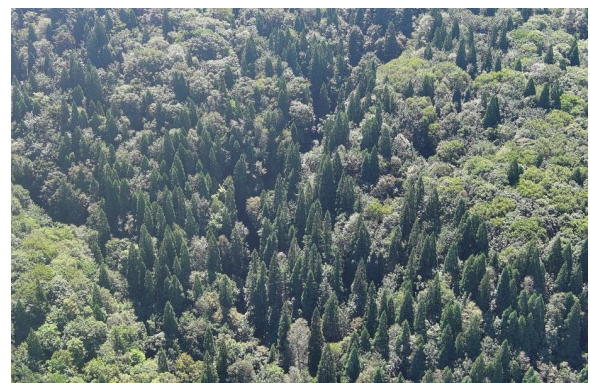
複層林化：林齢や樹種の異なる複層状態の森林の整備

針広混交林化：針葉樹と広葉樹の混交を促進する施業

※「特に効率的な施業を推進する森林」については、p.10で解説しています。



林齢や樹種の異なる複層状態の森林（複層林）



針葉樹と広葉樹の混交した森林（針広混交林）



▶ 荒廃林地の復旧整備

近年多発している集中豪雨や台風等により山地災害が発生した場合は、迅速に現況調査を行い、応急対策及び災害復旧対策を実施します。

また、東日本大震災により被災した海岸防災林については、適切な時期に本数調整伐等を実施し、健全な林分の育成に取り組みます。



令和5年7月の大雨による災害の復旧状況
(米代西部署：秋田県三種町)



海岸防災林の育成・本数調整伐
(仙台署：宮城県仙台市)

▶ 災害発生危険性の低減のための予防対策

山地災害危険地区や氾濫した河川の上流域等において、流木や土石流、山腹崩壊の発生を抑制する治山施設の整備等による防災・減災対策を推進します。



流木対策（独立基礎型流木捕捉工）
(金木支署：青森県中泊町)



土砂流出対策（溪間工）
(置賜署：山形県小国町)

▶ 山地災害発生時の初動対応

山地災害が発生した（発生するおそれがある）場合には、早期に被害状況を把握するため、ヘリコプターによる上空からの調査に加え、地上からは国有林防災ボランティアの協力やドローンや山地災害調査アプリ等の活用により、効率的な調査を実施します。



ヘリコプターによる秋田県との合同調査



国有林防災ボランティアによる被災状況調査
(秋田署：秋田県仙北市)

トピックス 民有林直轄地すべり防止事業に着手

山形県西川町の上小沼地区において、新たに民有林直轄地すべり防止事業に着手します。

本地すべり地内には、地域住民の生活基盤の一つである水道施設が存在しており、その機能を維持しながら地すべり対策を実施するには、高度な技術が必要です。そのため、山形県知事から要請を受け、東北森林管理局で対策を実施することとなりました。

地域の安全・安心な暮らしを守るため、効果的な対策を実施します。

- 事業計画期間：令和8年度～令和17年度（10年間）
- 主要工事計画：集水井、水路工、杭工、土留工ほか
- 保全対象：人家、農地、国道、水道施設ほか



上小沼地区地すべり（全景）
(局治山課：山形県西川町)

▶ 山地災害対策緊急展開チーム等の派遣

国有林、民有林にかかわらず大規模な山地災害が発生した際は、国や地元自治体等による山地災害等対策業務を迅速かつ円滑に実施するため、**山地災害対策緊急展開チーム等を編成し、職員を県や市町村等に派遣**します。



令和6年能登半島地震における民有林被害箇所の現地調査
(石川県輪島市)

■ 路網整備の推進

林道や森林作業道について、それぞれの道の役割や自然条件、作業システム等に応じて適切な整備を推進するとともに、災害時に代替路としての機能が発揮できる林道の整備や災害の激甚化、車両の大型化に対応した路網の強靱化に取り組みます。

▶ 代替路

災害時に孤立した集落が発生した際に代替路となり得る林道の整備・強化に取り組みます。



代替路整備（新設）
(三八上北署：青森県新郷村)

▶ 壊れにくい林道

防災機能の強化に向けた林道の開設・改良を推進するとともに、簡易な資材による低コストな施工技術の確立に取り組みます。



排水施設の強化
(米代東部署：秋田県北秋田市)



東北式シート工法（轍掘れ軽減対策）
(下北署：青森県むつ市)

(2) 地球温暖化対策の推進

■ 適切な間伐、再造林等

地球温暖化防止には、森林整備や木材利用等による森林吸収源対策が重要です。2050年ネット・ゼロの実現に向けて、**適切な間伐等の実施、天然生林等の適切な管理・保全**などに取り組むとともに、エリートツリー等（※）の再造林等による成長の旺盛な若い森林の造成に率先して取り組みます。

※エリートツリー等

- ・成長や材質等の形質が良い精英樹同士の人工交配等により得られた次世代の個体の中から選抜される、成長等がより優れた精英樹。
- ・農林水産省では、「みどりの食料システム戦略」の林野部門において、林業用苗木のうちエリートツリー等の占める割合を2030年までに30%、2050年までに90%以上とする目標を掲げている。
- ・また、特に成長が良く（在来の系統の概ね1.5倍以上）、材質に優れ、雄花の着生が少なく花粉量が一般的なスギ・ヒノキの概ね半分以下などの特定の条件を満たした母樹を間伐等特措法に基づく「特定母樹」として指定し、その増殖の実施の促進を図っている。特定母樹から採取した種穂から育成された苗木を「特定苗木」と呼んでいる。



エリートツリー
(成長や材質に優れた苗木)

(3) 生物多様性の保全

森林生態系は野生動植物の生息・生育の場の創出や種・遺伝子の保管庫としての機能を持ち、生物多様性の保全にとって最も重要な位置を占めています。

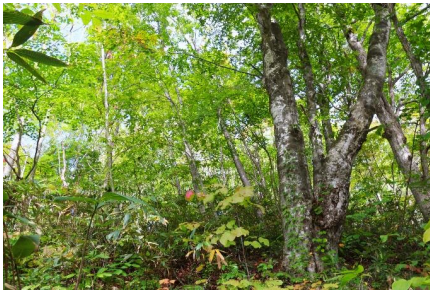
東北森林管理局においても、多様な林相からなる森林生態系の保全に取り組んでいます。

■ 保護林

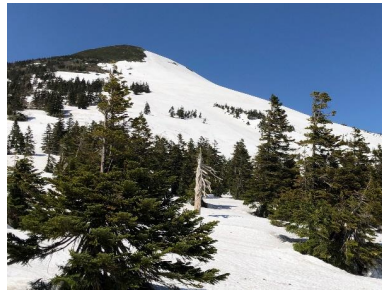
国有林野内の**森林生態系**や**希少な野生動植物**を将来にわたって**保護・管理**していくため、「保護林」を設定しています。

- 森林生態系保護地域** : 8か所 119,600ha
気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理
- 生物群集保護林** : 16か所 77,721ha
地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理
- 希少個体群保護林** : 71か所 2,293ha
希少な野生動植物の生息・生育に必要な森林を保護・管理

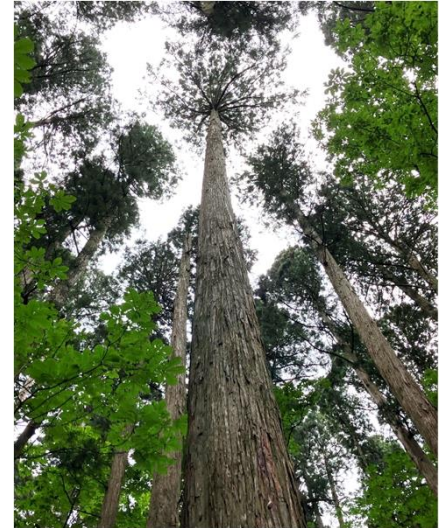
令和7年4月1日現在



葛根田川・玉川源流部森林生態系保護地域：
ブナの天然林
(盛岡署：岩手県雫石町)



八甲田山生物群集保護林：冬の小岳
(三八上北署：青森県十和田市)



仁耐水沢スギ希少個体群保護林：天然秋田スギ
(米代西部署：秋田県能代市)

■ 緑の回廊

動植物の個体群の交流を促進して、種の保全や遺伝的な多様性を確保するため、**保護林を連結してネットワークを形成**する「緑の回廊」を設定しています。

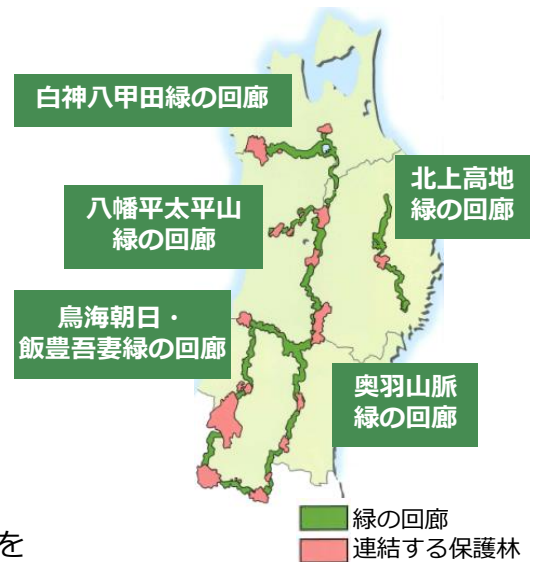
東北森林管理局では、これまでに5か所設定しており、総延長約900km、面積約18万haとなっています。

▶ 世界自然遺産 白神山地

平成5年に世界自然遺産に登録された白神山地は、ブナを中心とする冷温帯落葉広葉樹が大面積に分布し、雄大な山岳景観とともに、豊富な動植物が生息・生育しています。

きわめて貴重な天然林であるため、東北森林管理局では森林生態系保護地域に指定して管理しています。また、世界自然遺産として「**核心地域**」と「**緩衝地域**」に区分されており、核心地域は指定ルートでの登山や学術研究等の場合を除き入林を制限していることから、入林の際には手続きが必要です。

多様な動植物の保護を目的として、周辺地域において地元自治体、NPO団体等と連携を図りながら、密漁やゴミの不法投棄などを監視するための**パトロール**や、**森林の適切な管理**等に取り組んでいます。



世界遺産核心地域を遠望（白神岳頂上より）
(津軽署：青森県深浦町)

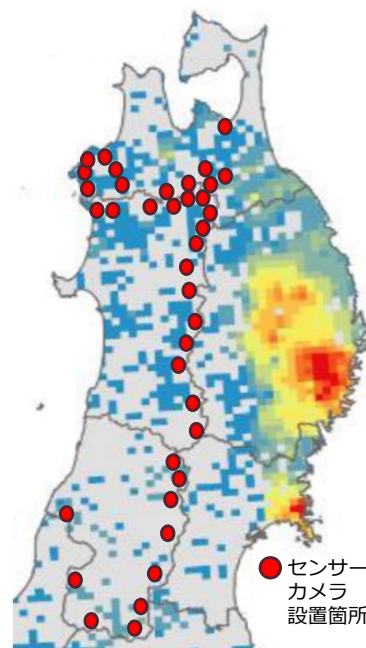
■ 病虫獣害対策

▶ ニホンジカ被害対策

委託による捕獲事業に加え、自治体等とのニホンジカ被害対策協定に基づくワナの貸出しや、捕獲支援のための林道除雪などを通じて、地域と連携したニホンジカ被害対策を推進します。

特に、捕獲事業者の負担軽減と処理コストの削減を図るため、協定の一環として、国有林内における大型排水管を利用した残渣処理設備の設置も支援します。

また、拡大しつつある先端地域の生息状況等を把握するため、白神山地周辺、早池峰地域、奥羽山脈西側で生息状況調査等を実施します。



ニホンジカの生息密度（東北）

2024年03月22日 報道発表「本州以南におけるニホンジカの密度分布図（令和4年度当初）の作成について」（環境省）
https://www.env.go.jp/press/press_02936.htmlを加工して作成

白神山地周辺（青森県・秋田県）：センサーカメラや食痕等に付着したDNAを利用した生息状況の把握、捕獲に向けた調査

早池峰地域（岩手県）：貴重な高山植物を守るための柵の設置、生息状況等調査

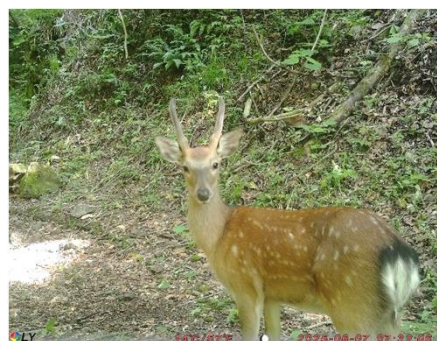
奥羽山脈西側（青森県・秋田県・山形県）：センサーカメラによる生息状況調査



くくりワナの設置
（三陸北部署：岩手県宮古市）



大型排水管を利用した残渣処理設備
（遠野支署：岩手県遠野市）

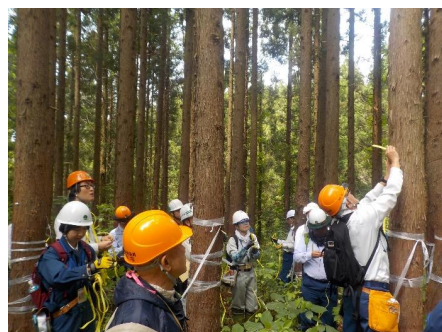


センサーカメラで撮影されたニホンジカ
（藤里森林生態系保全センター：秋田県八峰町）

▶ ツキノワグマ被害対策

ツキノワグマによる立木の剥皮被害対策として、関係者と連携し、被害発生状況の的確な把握と情報共有、効果的な防除対策に取り組みます。

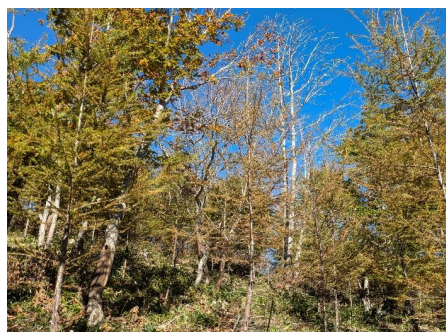
また、クマ被害対策パッケージを踏まえ、林業事業者等の安全確保や、地域の要請に応じた緩衝林帯の整備、箱わな等の設置場所の提供、森林の巡視の強化とクマ目撃情報の提供、生息環境の保全・整備に向けた針広混交林化や広葉樹林への誘導等を実施します。



クマ剥ぎ被害対策研修会
（置賜署：山形県小国町）



センサーカメラで撮影されたツキノワグマ
（朝日庄内森林生態系保全センター：山形県西川町）



広葉樹を保全した除伐作業
（三陸中部署：岩手県釜石市）

▶ ナラ枯れ被害対策

被害の拡大を防止するため、**被害発生状況の的確な把握と関係者との情報共有**、重点的・効果的な防除対策に取り組みます。

伐倒くん蒸や樹幹注入など被害木の駆除・予防事業のほか、「**おとり丸太法**」についても取り組みます。

地元自治体から要望があった場合、被害が拡大しやすい大径木を伐採し、森林の若返りや被害を受けない樹種への転換を進める**ナラ類の若返りに向けた伐採**に取り組み、ナラ枯れ被害のまん延防止に貢献します。



田沢湖周辺のナラ枯れ被害
(秋田署：秋田県仙北市)



被害木のくん蒸処理
(三八上北署：青森県横浜町)



「おとり丸太法」勉強会
(秋田署：秋田県仙北市)

▶ 松くい虫被害対策

日常的な巡視による被害発生状況の的確な把握に努めるとともに、保護林・公園等の貴重な松を守るための薬剤の樹幹注入、海岸のクロマツ林を保護するための薬剤の地上散布等の予防や、被害木の伐倒くん蒸等の駆除を通じ、防除対策に取り組みます。



予防薬剤の注入
(岩手南部署：岩手県一関市)



予防薬剤の地上散布
(由利署：秋田県由利本荘市)



くん蒸処理中の被害木
(三陸中部署：岩手県陸前高田市)

トピックス 庄内海岸防災林の松くい虫被害対策

庄内海岸林の松くい虫被害は令和5年以降急拡大しており、令和6年度は過去最大の被害量となりました。令和4年度までは、被害木を全量駆除してきましたが、被害の拡大に伴い対策が追いつかない状況となったため、令和6年から鶴岡市内の海岸林において、最前線部の枯れ木は残し、その内陸側を帯状に伐採、植付する新たな取組を試験的に実施しています。

令和8年度は、酒田市の海岸林において実施する予定です。引き続き、山形県や市町村など地域の関係者と連携しながら効果的な対策に努めます。



庄内海岸クロマツ林の松くい虫被害
(庄内署：山形県鶴岡市)



帯状伐採・植付箇所
(庄内署：山形県鶴岡市)



庄内海岸林松くい虫被害対策強化プロジェクト会議
(庄内署：山形県遊佐町)

■ 地域住民や関係機関等との連携

自治体や消防機関と連携して**山火事防止パトロール**を実施し、市民の火災予防意識の啓発を図ります。

加えて、林野火災発生時には消火用機材を貸与するなど、**民有林における火災対応にも協力**します。

また、森林ボランティアや自治体等と連携し、**遊歩道の環境整備や不法投棄物クリーン活動等**に取り組みます。



山火事防止パトロール
(置賜署：山形県小国町)



消火機材を使用した防災訓練
(津軽署：青森県弘前市)

トピックス 火災予防条例の改正

令和7年2月に岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災を受けて、各自治体の火災予防条例が改正されています。

例年、冬から春にかけて林野火災が多く発生しています。これは、下草が枯れ、落葉が積もって「燃えやすいもの」が林内に蓄積されること、風が強く、乾燥状態が続くこと、山菜採り、ハイキング等で入林者が増加することなどが原因として挙げられます。

日頃から火の取扱いには十分注意するとともに、「**林野火災警報**」や「**林野火災注意報**」の発令状況等を確認し、火気の使用を控えるなど、林野火災の未然防止にご協力をお願いします。

林野火災注意報



**たき火を
しない**



**タバコを
吸わない**

などについて**努力義務**が発生

林野火災警報



**たき火
禁止**



**タバコ
禁止**

などについて**制限**が発生
(違反した場合は罰則あり)

※ 具体的な区域や制限内容などの詳細は、市町村や地域を管轄する消防本部の情報(HP等)をご確認ください。

※ その他、消防署へのたき火の事前届出等もルールとして明確化されました。

火災予防の知識（関係機関のHP）

・ 林野庁：山火事予防！！

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/hogo/yamakaji/index.html>



・ 消防庁：林野火災への備え

<https://www.fdma.go.jp/mission/prevention/rinyakasai/sonae.html>



・ 気象庁：林野火災予防ポータルサイト

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/rinya/rinyakasai.html>



2 森林・林業施策全体の推進への貢献

(1) 効率的な施業の推進と民有林関係者への普及

■ 林業の省力化・低コスト化に向けた取組

▶ 特定苗木を活用した再生林の推進

「特に効率的な施業を推進する森林(※)」を中心に、主伐・再生林に取り組みます。

「特に効率的な施業を推進する森林」のうち、県が設定する「スギ人工林伐採重点区域」に該当する国有林を「重点区域に準じた国有林」とし、伐採・植替え等の効果的・集中的なスギ花粉発生源対策にも取り組みます。

再生林に当たっては、成長に優れ、花粉の少ない特定苗木を積極的に活用し、スギ花粉発生源対策にも貢献しつつ、林業の省力化や低コスト化に向けた効率的な施業を実施します。

花粉の少ない苗木の使用本数、面積

区分	R7(実績見込み)	R8(予定)	前年度比
使用本数(千本)	683	933	137%
面積(ha)	336	454	135%



特定苗木(イメージ)

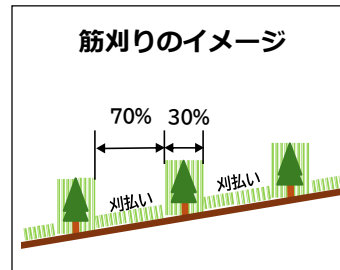
このほか、「重点区域に準じた国有林」においてカラマツへの樹種転換で9.6千本、5.02haを植栽予定。

※「特に効率的な施業を推進する森林」については、p.10で解説しています。

▶ 筋刈りの実施

実施可能な箇所で筋刈りを実施します。

筋刈りは、植栽木の列間を刈り払うことで、1ha当たりの単価縮減や作業効率の向上、作業の省力化にもつながることから、下刈りの低コスト化手法として取り組みます。



筋刈りによる刈払い
(盛岡署：岩手県雫石町)

▶ 生産性向上に向けた取組

林業事業者と連携し、生産性の高い林業の確立に努めます。

生産日報アプリを活用した日報作成とAI分析の活用により情報共有の徹底によりボトルネックの解消を図るとともに、航空レーザ測量成果を活用し、森林作業道の効率的な計画作成を推進します。



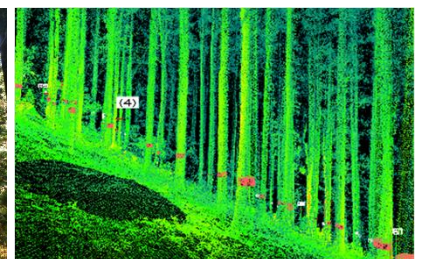
森林作業道の作設

▶ 収穫調査の効率化

地上型3Dレーザ等の導入により、収穫調査の効率化を図ります。



地上型3Dレーザによる測定
(三八上北署：青森県十和田市)



取得したデータで作成した
3次元点群表示

■ 各種試験等の実施

▶ 成長の優れた苗木と肥料を組み合わせた施業の検証

成長の優れた特定苗木の特性をさらに活かすため、従来の肥料よりも効果が持続する「超緩効性肥料」を用いることで、下刈りの縮減等再造林の低コスト化の可能性について検証を行います。

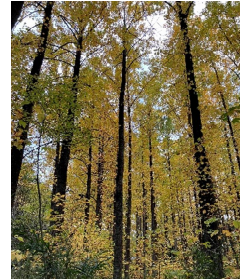


試験地
(最上支署：山形県鮭川村)

▶ 早生樹ユリノキの植栽

寒冷地型早生樹施業の確立を目指すため、令和6年度までに管内の各県に2か所ずつユリノキの植栽試験地を設置しました。

今後は、**ユリノキの成長特性や国内外の需給実態等について調査**し、造林樹種としての利用の可能性を評価していきます。



53年生のユリノキ
(岩手大学演習林)



植栽2年目のユリノキ成長量調査
(由利署：秋田県由利本荘市)

▶ ブナ開花・結実調査

平成元年度からブナ林管理の有用な基礎情報として、ブナの開花・結実豊凶調査を実施してきました。ブナ林管理や研究の一助となるよう、引き続き調査を実施します。

また、ブナの結実の豊凶は、クマの出没傾向の参考となる情報であることから、**開花・結実状況の調査結果は早期に情報発信**するよう努めます。



ブナの実

▶ 林分密度実験林

令和7年度、山形県酒田市の国有林にスギ特定苗木を同心円状に植栽し、**小面積で様々な植栽密度の林分を再現できる林分密度実験林を設定**しました。

今後は、植栽密度の違いによる成長過程や広葉樹の侵入、枝の枯れ上がり方、成林後の材積の違い等について継続的な調査を実施します。



九州局(宮崎南部署)での事例

■ ICT機器の活用

ドローンやウェアラブルカメラ、GNSSなどのICT機器を積極的に試行・運用し、**事業ベースでの利活用に向けた情報発信**に取り組めます。

また、航空レーザを活用した森林資源の把握や国有林情報も含めた森林クラウド整備に取り組めます。



ドローンで雑草木の繁茂状況を確認
(岩手南部署：岩手県奥州市)



航空レーザ計測で作成した
微地形表現図

用語解説 特に効率的な施業を推進する森林

水源涵養タイプの人工林のうち、林地生産力や地形等の自然条件や路網整備状況等の社会的条件が良い森林を令和5年度より「特に効率的な施業を推進する森林」に設定しており、令和7年度現在、105千haを当該森林に設定しています。

当該森林を事業実施箇所の選定に活用するとともに、当該森林において造林の省力化、低コスト化等の効率的な施業の実施、現地検討会を通じた民有林関係者等への普及等に取り組めます。

(2) 林業事業体・林業経営体の育成

林業事業体・林業経営体の健全で安定した経営に資するため、一定の事業量を安定的に発注します。

また、全産業の中で最も高い発生率となっている労働災害を減少させるため、林業従事者への安全指導や研修の実施、安全装備の導入等を推進します。

さらに、危険予知対策でもある**林業のヒヤリハット事例を共有**し、安全意識を高める取組を進めています。



労働災害防止協議会
(上小阿仁支署：秋田県上小阿仁村)



林業事業体への労働安全指導
(岩手北部署：岩手県八幡平市)



林業事業体への労働安全指導
(金木支署：青森県五所川原市)

■ 森林整備推進協定の締結

民有林と森林共同施業団地を設定し、**民国連携した林業専用道の整備、路網・土場の相互利用**により、効率的な森林整備に取り組みます。

また、ロットを確保して民有林材を補完し、有利販売となるよう、**協調出荷**に取り組みます。

県別の森林整備推進協定締結面積 令和8年4月1日現在

県	協定締結	協定面積(千ha)		
		国	民	計
青森	6	21.6	7.7	29.3
岩手	8	10.0	16.9	26.9
宮城	3	12.3	8.5	20.8
秋田	8	50.8	34.5	85.3
山形	6	52.1	20.4	72.5
計	31	146.9	87.9	234.8



共同施業団地（皆伐跡地をドローンで撮影）
(宮城北部署：宮城県南三陸町)



管内の共同施業団地位置図

■ 樹木採取権制度の運用

現行の入札を基本としつつ、国有林の一定の区域（樹木採取区）において、立木を一定期間、安定的に採取する権利を民間事業者に設定できる**樹木採取権制度を活用**し、安定的な事業量を確保することで森林経営管理制度の要となる林業経営者の育成を推進します。



東北2 田子地区樹木採取区
(三八上北署：青森県田子町)

東北森林管理局管内の樹木採取区

名称	樹種	区域面積 (ha)	採取可能面積 (ha)	採取実績 (ha)	存続期間
東北1 大曲・船岡樹木採取区	スギ、その他広葉樹	131.92	118.52	34.38	R4.2.18～R12.2.17
東北2 田子地区樹木採取区	スギ、カラマツ、アカマツ、その他広葉樹	247.90	143.01	23.99	R4.3.16～R12.3.15

※現行の国有林の伐採ルールを厳守。伐採跡地の植栽は樹木採取権者への請負により、国が行う。

(3) 市町村の森林・林業行政に対する技術支援

■ 森林総合監理士等による民有林行政の支援等

改正森林経営管理法に基づく集約化構想の協議の場等に森林管理署等の森林総合監理士等が参画し、地域の合意形成に貢献するなど、民有林施策の推進に寄与します。

また、県と連携して、市町村森林整備計画の策定に対する技術的支援を行います。

さらに、市町村林務担当職員等を研修に受け入れるほか、森林管理署等の職員が講師となって出前講座を実施するなど、市町村職員のスキルアップに協力します。



集約化構想の協議の場への参画
(米代東部署：秋田県大館市)



市町村職員への出前講座
(湯沢支署：秋田県羽後町)



市町村林務担当者とのナラ枯れ勉強会
(三八上北署：青森県横浜町)

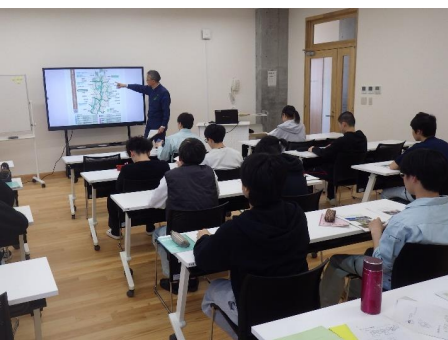
(4) 森林・林業技術者等の育成支援

各森林管理署等において、市町村や林業事業体等を含めた現地検討会を開催するなど、森林施業の低コスト化や省力化等につながる**新たな林業技術の普及**に努めます。

また、将来の担い手の育成に向けて、各県で取組が進められている**林業大学校等への講師の派遣**や**フィールドの提供**等を実施します。



ドローンの操作演習会
(久慈支署：岩手県野田村)



東北農林専門職大学附属農林大学校生への講義
(最上支署：山形県鮭川村)



いわて林業アカデミーへのフィールド提供
(盛岡署：岩手県盛岡市)

管内林業大学校等との連携体制

学校名	連携体制	窓口となる署
青い森林業アカデミー	青い森づくりの推進に関する覚書	青森森林管理署
いわて林業アカデミー	運営協議会に盛岡署が参画	盛岡森林管理署
みやぎ森林・林業未来創造カレッジ	みやぎ林業イノベーション推進に関する覚書	仙台森林管理署
秋田県林業トップランナー養成研修 (秋田林業大学校)	・秋田を元気にする緑の覚書 ・秋田林業大学校と秋田森林管理署の人材育成に関する連携協定	秋田森林管理署
東北農林専門職大学 東北農林専門職大学附属農林大学校	・東北農林専門職大学と山形森林管理署最上支署の人材育成に関する連携協定 ・やまがた森林ノミクスの推進に関する覚書	山形森林管理署最上支署

(5) 国有林材の安定供給

国産材の需要動向や民有林からの供給状況など、**各地域の木材需給状況を踏まえ、国有林材を供給**します。

製材工場等との間で木材の安定供給に関する協定を締結し、協定に基づき、間伐等の森林整備事業により得られる木材を安定的・計画的に販売する「**安定供給システム販売**」を推進し、地域の活性化に貢献していきます。

■ 流通の効率化

安定供給システム販売のうち、生産された丸太を山から直接製材工場や原木市場に運搬し、原木選別機により数量を確定することにより、山土場の滞留や夏場の虫害を防ぐことを目的とした「**直送システム販売**」を拡大します。

また、大量の丸太保管、トラックへの効率的な積み込みを可能とする**中間土場の設置**により、効率的な木材流通に貢献していきます。

直送システム販売量 (単位：m³)

県名	R7 (実績)	R8 (予定)
青森県	0	1,000
岩手県	0	1,000
宮城県	0	1,000
秋田県	22,967	40,000
山形県	0	1,000
計	22,967	44,000



直送システム販売のイメージ

■ 高品質ブランド材や広葉樹材の供給

管内各地の優れた森林資源を有効活用するため、間伐等の森林整備事業において出材される高品質材や広葉樹材等の供給に努めます。高品質材については、**天然林国有林高品質材及び高齢級国有林高品質材**として販売し、**地域ごとにブランド化を推進**します。

製材工場や原木市場、木材流通の関係者等を通じて高品質材の需要動向等の情報収集を行い、需要者のニーズを踏まえた採材を実施します。



高品質 秋田杉
(米代東部署：秋田県大館市)

■ 事業や庁舎等への木材利用

再生可能な資源である木材の利用は、炭素の貯蔵や製造・加工時の二酸化炭素の排出削減により地球温暖化の防止に貢献するほか、地域経済の活性化等にもつながります。

治山や林道等の土木構造物や庁舎等への木材の利用を推進し、木材需要の創出や木材のPRに努めます。



治山事業への木材の利用
(米代西部署：秋田県五城目町)



林道事業への木材の利用
(盛岡署：岩手県盛岡市)



内装木質化した釜石森林事務所
(三陸中部署：岩手県釜石市)

3 国民の森林としての管理経営

国民共通の財産である国有林野の管理経営に当たっては、国有林野を「国民の森林」として位置付け、国民に開かれた管理経営に努めます。多様で豊かな自然環境や森林・林業に関する知識と経験を活かしながら、国民のニーズを踏まえた多様な取組を推進します。

(1) 森林の整備・保全等への国民参加

■ 国民参加の森林づくり

国民参加の森林づくりの推進のため、自ら森林づくりに参加したいという国民の要請も踏まえ、森林管理署等と自治体、NPO等が協定を結び、**国有林野を森林づくりフィールドとして提供**しています。

各森林管理署等が技術指導や助言、講師の派遣等を行い、森林づくりを支援します。

ふれあいの森 : 13か所 66ha

自主的な森林づくり活動

社会貢献の森 : 44か所 67ha

企業の社会的責任（CSR）活動などを目的とした森林づくり活動

木の文化を支える森 : 5か所 35ha

地域の伝統文化などの継承に貢献するための国民参加による森林づくり活動

遊々の森 : 43か所 1,945ha

森林環境教育の推進を目的とした森林教室、体験活動

多様な活動の森 : 3か所 17ha

森林保全を目的とした森林パトロール、美化活動

モデルプロジェクトの森 : 1か所 490ha

地域や森林の特色を活かした森林管理の実施を目的とした森林整備・保全活動

令和8年4月1日現在



社会貢献の森での植樹活動
(由利署：秋田県由利本荘市)



遊々の森における植樹祭
(最上支署：山形県新庄市)

トピックス



昭和100年記念分収造林



戦後の復興や経済成長のための旺盛な木材需要を背景に、先人が育てた豊かな森林資源がもたらす恩恵に感謝し、地域と国が協力して次世代へ継承する森林を育てる象徴的な取組として、全国の国有林において、記念分収造林を実施します。

「昭和100年記念分収造林」では、特に、多様な樹種を育て、豊かな環境を育み、次世代へ引き継ぐ責任を分かち合うことをコンセプトにした分収造林を「グリーン・シェアリング」と名付け、様々な企業等の参加による分収造林の導入を進めます。

「昭和100年記念分収造林」(グリーン・シェアリング)ポータルサイト



https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/kokumin_sanka/bunshu_zorin/greensharing.html



(2) 森林サービス産業の推進

■ レクリエーションの森

国有林野を広く活用してもらう目的で、美しい森林や山岳、渓谷、湖沼などの景勝地及び野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」として設定しています。

また、「レクリエーションの森」の中から特に訪れていただきたい森を「**日本美しい森 お薦め国有林**」として全国93か所選定し、重点的な施設整備や情報発信に取り組んでいます。東北森林管理局管内では、**11か所**を選定しています。

林野庁：日本美しい森 お薦め国有林

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/index.html



自然休養林 : 11か所 12,571ha

- ・特に風景が美しく、保健休養に適している森林
- ・自然探勝、登山、ハイキング、キャンプなど複合的に楽しむことができます

自然観察教育林 : 27か所 6,712ha

- ・自然の変化に富み、自然観察学習に適している森林
- ・野生動植物の観察や森林の働きなどを学ぶことができます

森林スポーツ林 : 5か所 260ha

- ・森林とふれあうアウトドアスポーツを楽しむ森林
- ・キャンプ、サイクリングなどで自然を体感できます

野外スポーツ地域 : 38か所 11,262ha

- ・スキー場や宿泊施設などが一体となった地域
- ・雄大な自然の中で、爽快な汗を流すことができます

風景林 : 32か所 9,852ha

- ・名所、旧跡等と一体になって景勝地を形成している森林
- ・森林の雄大な眺望と地域の歴史を感じることができます

風致探勝林 : 3か所 123ha

- ・山岳、湖沼、渓谷等が一体となった美しい自然景観の探勝が楽しめる森林
- ・遊歩道等を利用して、様々な樹木、四季折々の自然の織りなす彩りを味わえます

令和7年4月1日現在



白石蔵王自然観察教育林：水芭蕉の森
(仙台支署：宮城県白石市)



栗駒自然休養林：須川湖と栗駒山
(湯沢支署：秋田県東成瀬村)

(3) 森林環境教育の推進

森林管理署等では、森林環境教育の実践の場として国有林野が利用されるよう、**講師の派遣**や**フィールドの提供**等に積極的に取り組んでいます。



未就学児童を対象にしたきのこの駒うち体験
(朝日庄内森林生態系保全センター：山形県酒田市)



ZORINGを使用した小学生の森林教室
(三陸中部署：岩手県住田町)



中学生の職場体験
(青森署：青森県外ヶ浜町)